とっても便利 TANO 活用法

TANO は現場のこんな「こまった」にお答えします

こまった スタッフの人数がたりない

ゲームが自動再生するので レクリエーションの監督いらず

※手動で再生するゲームもございます。

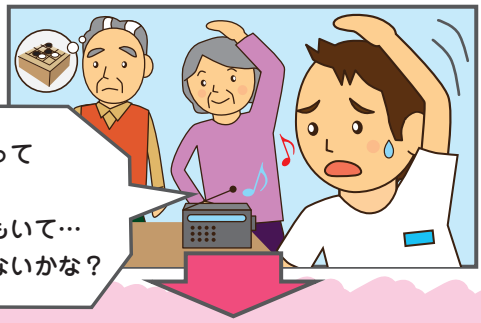
待ち時間や
訪問のお客様が来た時も
一緒に楽しめます！

こまった レクリエーションが マンネリ化してしまう

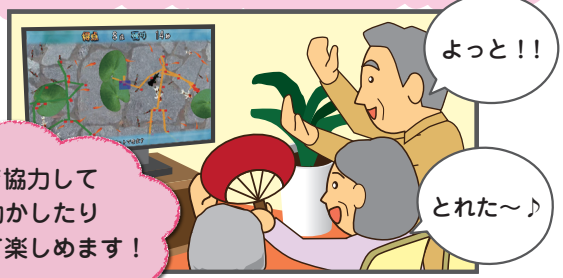
バリエーション豊かな40種類以上のプログラムで誰でも簡単に楽しめる

「声」を出したり
「体」を動かしたり
脳トレゲームも盛り沢山！

こまった 体操を楽しくやりたい



遊びながら自然と運動不足を解消 座ったままでも楽しめる



複数人で協力して
「体」を動かしたり
「声」をだして楽しめます！

こまった イベントを盛り上げたい

最新鋭のレクリエーションツール ゲーム大会で集客力UP!

ルールは簡単なので
子どもから大人まで
幅広い年齢層に大人気！

どうやって使っているの？

TANO おすすめ使用例を大紹介！

実際に「TANO」を導入している施設ではどのように活用しているのか？
気になるレクリエーションの使用例を調べてきました。

大人数で使用する場合

介護予防教室・福祉イベントなど

人数 20 ～ 50 人
時間 30 ～ 40 分

5分 → 25分 → 30分 → 40分

1 チーム分け

司会になる方が挨拶した後はさっそくチーム分けをしましょう。1 チーム 5 ～ 8 人くらいが目安です。顔見知りでない方同士でも、ゲームを通じて自然と打ち解けていきます。

2 ゲームスタート

最初は声を出すゲームで緊張をほぐしましょう。テーブルごとに分かれてチーム対抗戦をします。1 チームあたりの時間は入れ替えも含めて 4 ～ 5 分です。

おすすめはコレ！ カネカネキャッチ

声を出した方向にザルが動いてお金をキャッチします！

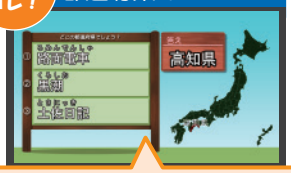
3 優勝チーム決定

チームごとの点数を記入して優勝チームが決定します。ホワイトボードに点数を書いておくとわかりやすいです。景品などがあると更に盛り上がります。

4 脳トレゲーム

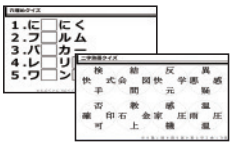
最後は個人戦で脳トレゲーム。ルールは簡単、間違えても良いのでとにかく「声に出して答える」こと。楽しく答えながら、近くの人との会話が広がります。

おすすめはコレ！ 都道府県あてゲーム



3 つのキーワードをヒントにどの都道府県なのかを当てよう！

印刷もできます



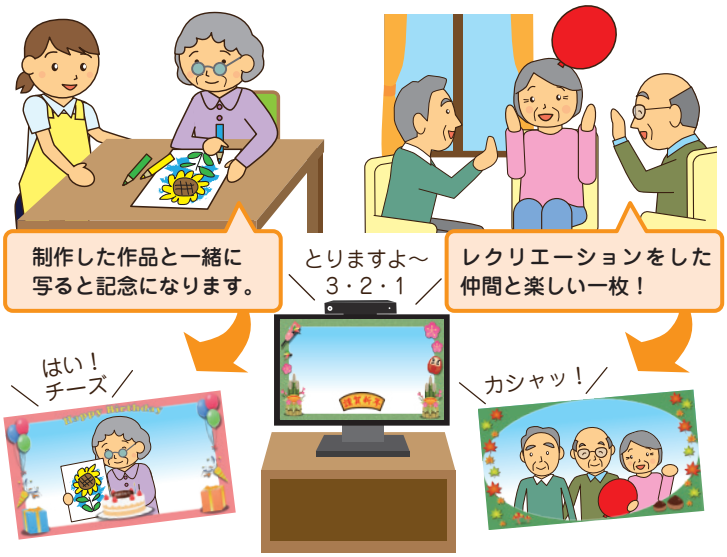
施設で使用する場合

通所介護サービス・グループホームなど

人数 自由
時間 15 ～ 60 分

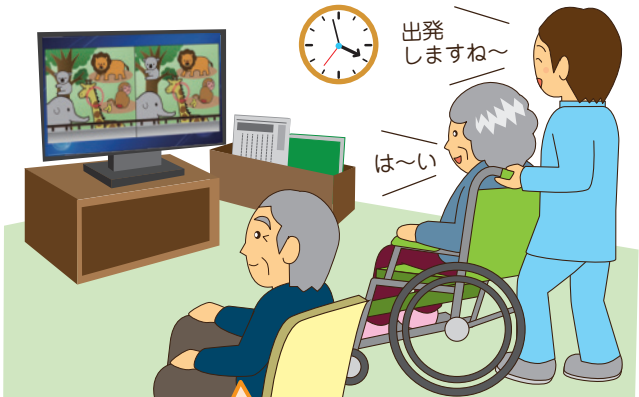
1 レクリエーション後の記念撮影

レクリエーションの後に記念撮影をしましょう。「写真」や「はい！チーズ」と言うだけで簡単に写真が撮れて、フレームも色々選べます。印刷してご家族に渡したり、スライドショーでも楽しめます。



2 待機時間などで少し時間があいたとき

順番に入る入浴時間や通所介護サービスでの帰宅時間など、利用者の方に待っていてもらう時間は、自動再生のプログラムがおすすめです。スタッフが忙しいときでも退屈しないでお待ちいただけます。



「あなうめクイズ」「間違いさがし」「重なり文字クイズ」など問題がランダムに出題されます。
一問数秒で終わるので、続きが気になることもありません。